

## 「症例報告」投稿ガイドライン

1. 症例は動的治療終了後2年以上経過し、初診時、動的治療終了時、最終資料採得時の資料を有するものとする。
2. 症例報告の雑誌掲載に対する患者の同意書を添付すること。
3. 雑誌掲載時の刷り上がりで4~5ページ程度とすること。
4. 以下の項目について記載されていること。
  - 1) タイトル：報告の内容を的確に表していること。  
氏名：共著者は3名以内とする。  
所属：  
キーワード：3~5個とする。
  - 2) 「はじめに」(400字以内)  
症例選択の理由を記す。
  - 3) 「症例概要」(4)と合わせ400~500字  
主訴、特徴的所見を記す。特徴的所見の記載に際しては、顔面所見・口腔内所見（前歯部咬合関係、白歯部咬合関係、歯列と個々の歯の状態、その他）・模型所見・X線所見の順に記す。
  - 4) 「診断・治療目標・治療計画」  
「症例概要」から抽出される症例の特徴、問題点をまとめ、診断・治療目標・治療計画を記す。
  - 5) 「治療経過（動的治療期間 年 か月・保定期間 年 か月）」(300~400字)  
治療目標に対応した治療経過を記す。
  - 6) 「結果・考察」(400~600字)  
治療目標をふまえて治療結果・考察を記す。
  - 7) 「参考文献」  
5編以内とし、本文中の引用文献に呼び出し番号を付ける。
  - 8) 「図表」  
本文末にまとめる。  
以下の図表についての案内は本症例報告の minimum requirement（最低限必要数）である。症例によって特に必要を認める場合は追加する。各図表については簡単な説明を加える。  
(1) 顔面写真

初 診 時	動的治療終了時	最終資料採得時
正 貌	正 貌	正 貌
側 貌	側 貌	側 貌

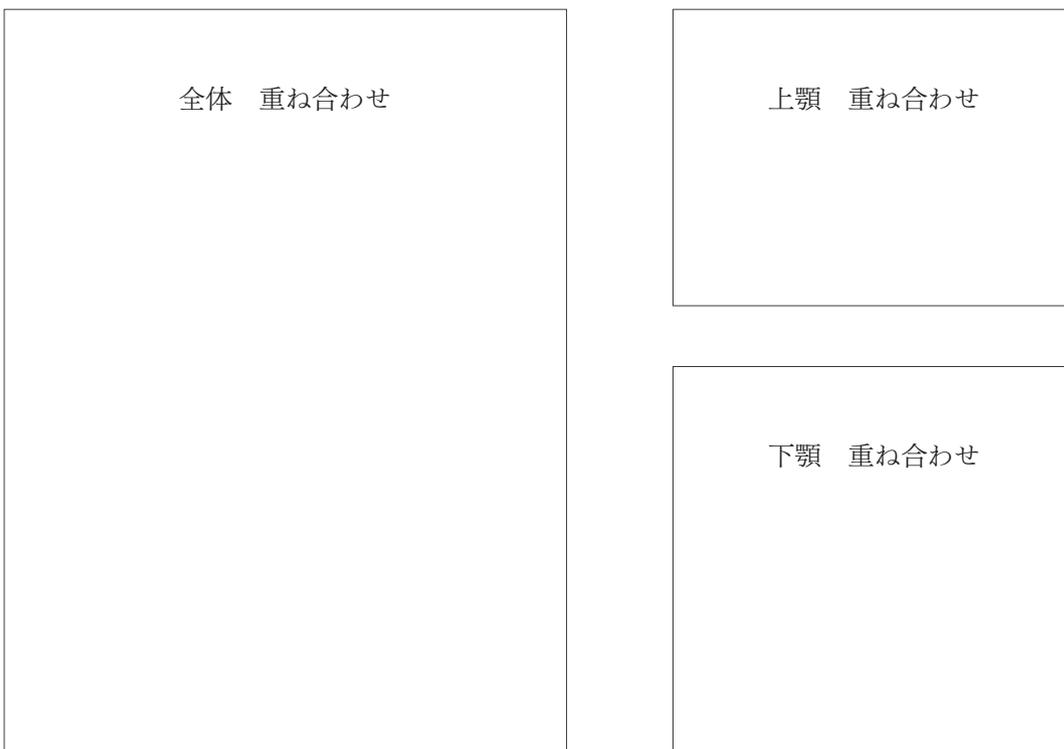
(2) 口腔内写真（口腔内写真を原則とする）

初 診 時	動的治療終了時	最終資料採得時
正 面	正 面	正 面
左側面	左側面	左側面
右側面	右側面	右側面
上顎咬合面	上顎咬合面	上顎咬合面
下顎咬合面	下顎咬合面	下顎咬合面

(3) パノラマX線写真

初 診 時
動的治療終了時
最終資料採得時

(4) 頭部X線規格写真 (cephalogram) 重ね合わせ



\* 初診時を実線，動的治療終了時を破線，最終資料採得時を一点破線で表示し，重ね合わせる。  
重ね合わせ法を簡単に記す。

(5) 頭部X線規格写真分析 (表) : Eラインより突出したものを+とする。この他に症例の説明のために必要な項目があれば追加する。

計測項目	初診時 ( 歳 か月)	動的治療終了時 ( 歳 か月)	最終資料採得時 ( 歳 か月)
SNA			
SNB			
ANB			
FMA			
IMPA			
FMIA			
U1-SN			
E-Line : Upper			
E-Line : Lower			